

事例 3 2 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

・直接結びつく影響はないと考えられる。

【質問】アリセプトやサアミオン、シンメトレルなど精神面で焦燥感が出る可能性がある薬も処方されていますが、これまでに服薬内容が変わった時に落ち着きがなくなるといった変化は見られませんでしたか？

【回答】

・そのような情報は聞かれていません。

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

・不眠時には薬を飲んでおり、夜間眠れずに昼夜逆転することはほとんどない。

【質問】身体的な苦痛はないと考えて良いでしょうか？

【回答】

・日中、昼寝などもしたことはなく、身体的な影響はないと感じられます。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

・一人で外に出ようとする止められるため苛立ちの原因となる。
・大人数で過ごすことを好まない。
・何かしていないと落ち着かない。

【質問】Aさんがこれまでデイサービス利用時に一人で落ち着いていた場面がありますか？

【回答】

・昼食後、みんなが昼寝をしている時に、何もすることがないからか、一人でソファーに座って過ごしていることがありますが、10分程度です。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

・普段の生活と違ったことがあると不安になる。

【質問】デイサービスで、主にAさんの担当をするスタッフはいますか？

【回答】

・ケアプランを考える上での担当はいますが、関わりにおいては職員全員で対応しているため、主担当はいません。

本人の言葉や状態
ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

・私はなぜここへ来ているんですか？
・誰が勝手に決めましたか？
・いつ帰るんですか？
・家に電話をするので電話帳を貸して下さい。
・何か役に立つことをしたい。
・気の向くままに歩きたい。

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

・自分が納得、理解できるまで何度も質問をする。
・ここへ来ていることを妻は知っているのか？等、気になることは妻に確認したがる。

【質問】家族がデイサービスに関わって本人が落ち着いたことはありますか？

【回答】

・電話での妻の説明には一度は納得しますが、電話で話したことは数分後には忘れていきます。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

・一人で外に出ると戻って来ることが出来ない。

【質問】これまでに自宅から外出して帰れなくなったことはありますか？

【回答】

・実際に戻れないことがあったとの情報は聞かれていません。一緒に外出しても、道や方向を覚えていないことから、一人で戻ってくることはできないだろうとの判断です。最近では知らない土地はもちろんのこと、自宅周辺でも一人で外出することはありません。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

・外に出たいが気軽に行けない。
・仕事や役に立つことをしたいが、する機会がない。

【質問】これまでに経理や野菜作り、カメラの経験を生かした、Aさんが納得するようなサービス提供の機会がありましたか？

【回答】

・小規模にて農園を借りており、暖かい時期は一緒に畑に出掛けて作業を行っています。一時期、カメラを持って写真撮影もしてもらいました。好きなことをしている時は生き生きとしています。

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

・きちりとした真面目な性格だったためか普段と違ったことがあると混乱してしまう。
・自分はしっかりしている、他の利用者とは違うという思いがある。

【質問】Aさんが他の利用者の中で「一目を置く」ような人はいないのでしょうか？

【回答】

・「自分の夫に似ている」との理由で一人の女性利用者側からAさんに積極的にコミュニケーションをとっています。Aさんもその方に対して優しく接する一面も見られています。